

平成 29 年度

歳入歳出決算補充説明書

地 域 連 携 部

平成 29 年度歳入歳出決算説明概要

地域連携部の所管する平成 29 年度歳入歳出決算につきまして、お手元に配付いたしました「平成 29 年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、その概要をご説明申し上げます。

平成 29 年度の地域連携部関係の歳入につきましては、

予算現額	100 億 3,930 万 1,000 円
調定額	97 億 581 万 4,164 円
収入済額	97 億 581 万 4,164 円

となっています。

一方、歳出につきましては、

予算現額	152 億 9,757 万 4,000 円
支出済額	148 億 8,949 万 4,579 円
翌年度繰越額	1 億 1,937 万 1,000 円
不用額	2 億 8,870 万 8,421 円

となっています。

次に、歳入の詳細につきまして、ご説明申し上げます。

48 頁をご覧ください。

まず、第 8 款「使用料及び手数料」第 1 項「使用料」第 1 目「総務使用料」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額 68 万円に対し、調定額、収入済額とも 88 万 6,085 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
土地使用料	244,703	P49 4 行
建物使用料	392,504	P49 5 行
公園施設使用料	248,878	P49 12 行
合 計	886,085	

また、52 頁の第 2 項「手数料」第 1 目「総務手数料」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額 12 万 3,000 円に対し、調定額、収入済額とも 15 万 5,820 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
不動産鑑定業登録申請手数料	99,200	P55 3行
政治資金収支報告書交付手数料	56,620	P55 10行
合 計	155,820	

従いまして、第 8 款「使用料及び手数料」といたしましては、予算現額 80 万 3,000 円に対し、調定額、収入済額とも 104 万 1,905 円となっています。

次に、78 頁の第 9 款「国庫支出金」第 2 項「国庫補助金」第 1 目「総務費補助金」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額 12 億 4,272 万 8,000 円に対し、調定額、収入済額とも 11 億 7,862 万 7,754 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
国土調査事業費補助金	101,528,000	P79 10行
社会資本整備総合交付金	1,035,993,000	P79 15行
社会保障・税番号制度システム整備費補助金	2,268,000	P81 1行
地方創生推進交付金	19,071,754	P81 3行
半島振興広域連携促進事業費補助金	14,454,000	P81 4行
訪日外国人旅行者受入基盤整備事業費補助金	5,313,000	P81 5行
合 計	1,178,627,754	

また、100 頁の第 9 目「教育費補助金」のうち当部関係は「学校施設環境改善交付金」であり、予算現額、調定額、収入済額とも 532 万 7,000 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
学校施設環境改善交付金	5,327,000	P101 16行

また、104頁の第3項「委託金」第1目「総務費委託金」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額10億1,037万円に対し、調定額、収入済額とも8億2,435万8,548円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
全国長期水需給計画調査委託金	70,440	P105 12行
自衛官募集事務委託金	575,250	P105 13行
政党助成事務委託金	398,000	P105 14行
在外選挙特別経費委託金	138,602	P105 16行
土地基本調査委託金	601,476	P107 2行
衆議院議員選挙委託金	810,961,476	P107 4行
衆議院議員選挙開票速報委託金	3,934,000	P107 5行
衆議院議員選挙臨時啓発委託金	3,939,000	P107 6行
最高裁判所裁判官国民審査委託金	3,740,304	P107 7行
合 計	824,358,548	

従いまして、第9款「国庫支出金」といたしましては、予算現額22億5,842万5,000円に対し、調定額、収入済額とも20億831万3,302円となっています。

次に、116頁の第10款「財産収入」第1項「財産運用収入」第1目「財産貸付収入」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額1億3,844万9,000円に対し、調定額、収入済額とも1億3,842万2,859円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
地所貸下料	133,215,670	P117 4行
物品貸下料	5,207,189	P117 6行
合 計	138,422,859	

また、同頁の第2目「利子及び配当金」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額174万3,000円に対し、調定額、収入済額とも174万601円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
利子収入	1,140,601	P117 8行
配当金収入	600,000	P117 9行
合 計	1,740,601	

また、同頁の第2項「財産売払収入」第1目「不動産売払収入」のうち当部関係は「土地建物売払収入」であり、予算現額4億7,266万1,000円に対し、調定額、収入済額とも4億7,266万1,357円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
土地建物売払収入	472,661,357	P117 14行

また、同頁の第2目「物品売払収入」のうち当部関係は、予算現額0円に対し、調定額、収入済額とも4万8,600円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
物品売払収入	48,600	P117 16行

従いまして、第10款「財産収入」といたしましては、予算現額6億1,285万3,000円に対し、調定額、収入済額とも6億1,287万3,417円となっています。

次に、120頁の第11款「寄附金」第1項「寄附金」第8目「総務費寄附金」のうち当部関係は「スポーツ推進費寄附金」であり、予算現額581万2,000円に対し、調定額、収入済額とも606万4,454円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
スポーツ推進費寄附金	6,064,454	P121 13行

次に、124 頁の第 12 款「繰入金」第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち当部関係は、予算現額 4 億 5,978 万 4,000 円に対し、調定額、収入済額とも 4 億 4,117 万 22 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
基金繰入金	441,170,022	P125 7 行

次に、126 頁の第 13 款「繰越金」第 1 項「繰越金」第 1 目「繰越金」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 591 万 9,000 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
繰越金	5,919,000	P127 4 行

次に、130 頁の第 14 款「諸収入」第 4 項「貸付金元利収入」第 21 目「市町の地域力支援資金貸付金元利収入」は、予算現額 1 億 7,805 万 3,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 7,805 万 3,604 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
市町の地域力支援資金貸付金元利収入	178,053,604	P131 13 行

また、同頁の第 23 目「木曾三川水源造成公社貸付金元利収入」は、予算現額、調定額、収入済額とも 786 万 2,000 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
木曾三川水源造成公社貸付金元利収入	7,862,000	P133 1 行

また、134 頁の第 5 項「受託事業収入」第 1 目「総務関係受託事業収入」のうち当部関係は「地方公共団体金融機構受託事業収入」であり、予算現額、調定額、収入済額とも 102 万 3,000 円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
地方公共団体金融機構受託事業収入	1,023,000	P135 6行

また、138頁の第6項「収益事業収入」第1目「宝くじ収入」のうち当部関係は、予算現額6億9,381万2,000円に対し、調定額、収入済額とも6億9,380万2,357円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
宝くじ収入	693,802,357	P139 9行

また、同頁の第8項「雑入」第2目「雑入」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額2億3,595万5,000円に対し、調定額、収入済額とも2億3,569万1,103円となっています。

科 目	収入済額 (円)	説明書
木曾岬干拓地維持管理負担収入	4,642,615	P141 1行
雑入	9,758,117	P141 13行
広告収入	1,759,000	P141 16行
スポーツ振興くじ助成金収入	31,117,000	P143 1行
ネーミングライツ料	10,000,000	P143 4行
三重県地域交通体系整備基金市町負担金収入	146,567,000	P143 5行
三重県自治体情報セキュリティクラウド市町負担金収入	31,847,371	P143 7行
合 計	235,691,103	

従いまして、第14款「諸収入」といたしましては、予算現額11億1,670万5,000円に対し、調定額、収入済額とも11億1,643万2,064円となっています。

次に、144頁の第15款「県債」第1項「県債」第1目「総務債」のうち当部関係は、次の内訳のとおりです。予算現額55億5,200万円に対し、調定額、収入済額とも55億1,400万円となっています。

科 目	収入済額（円）	説明書
木曾岬干拓地整備事業費充当	598,000,000	P145 5行
情報ネットワーク維持管理費充当	163,000,000	P145 7行
県営総合競技場事業費充当	4,162,000,000	P145 8行
県営鈴鹿スポーツガーデン事業費充当	49,000,000	P145 9行
特定振興地域推進事業費充当	56,000,000	P145 15行
電子県庁総合システム運用管理費充当	50,000,000	P147 3行
県営ライフル射撃場事業費充当	220,000,000	P147 4行
庁内情報共有化推進事業費充当	56,000,000	P147 10行
鉄道利便性・安全性確保等対策事業費充当	144,000,000	P147 13行
競技力向上対策事業費充当	6,000,000	P147 14行
熊野古道センター運営事業費充当	10,000,000	P147 15行
合 計	5,514,000,000	

また、162頁の第9目「災害復旧債」のうち当部関係は「伊賀鉄道災害復旧支援対策費充当」であり、予算現額2,700万円に対し、全額翌年度へ繰越のため、調定額、収入済額とも0円となっています。

科 目	収入済額（円）	説明書
伊賀鉄道災害復旧支援対策費充当	0	P163 16行

従いまして、第15款「県債」といたしましては、予算現額55億7,900万円に対し、調定額、収入済額とも55億1,400万円となっています。

続きまして、歳出の詳細につきましてご説明申し上げます。

まず、212頁の第2款「総務費」第6項「地域振興費」ですが、

予算現額	75億 281万9,000円
支出済額	73億 4,880万 70円
翌年度繰越額	9,170万1,000円
不用額	6,231万7,930円

となっています。

同頁の第1目「地域振興費」は、予算現額40億9,867万7,000円に対し、支出済額40億6,010万8,827円、不用額3,856万8,173円となっています。

支出済額の主なものは、職員の人件費、木曾岬干拓地の整備等に要した経費、三重県立熊野古道センターの管理及び紀南中核的交流施設の整備等に要した経費で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額(円)	説明
給与費	2,708,147,689	職員の人件費
木曾岬干拓地整備事業費	652,428,893	木曾岬干拓地の整備等に要した経費
東紀州地域集客交流推進事業費	369,473,116	三重県立熊野古道センターの管理及び紀南中核的交流施設の整備等に要した経費
特定振興地域推進費	68,741,195	大仏山地域散策路等整備に要した経費
地方拠点都市地域振興事業費	44,351,700	三重県立ゆめドームうえのの管理等に要した経費
地方連絡調整費	41,163,616	各地域防災総合事務所・地域活性化局における連絡調整に要した経費
移住促進事業費	34,765,936	移住促進情報発信拠点運営事業等に要した経費
その他	141,036,682	「南部地域活性化事業費」、「世界遺産熊野古道対策推進事業費」等
合計	4,060,108,827	

なお、不用額の主なものは、「給与費」の892万5,311円で、時間外勤務手当、期末勤勉手当等の執行残によるものです。

また、214頁の第2目「市町振興費」は、予算現額8億9,399万3,000円に対し、支出済額8億9,307万7,671円、不用額91万5,329円となっています。

支出済額の主なものは、市町村振興宝くじの収益金相当額を公益財団法人三重県市町村振興協会に交付した「市町村振興事業基金交付金」、県条例により市町に権限移譲された知事の権限に属する許可等の事務の執行につい

て市町に交付した「特例処理事務交付金」等、市町振興を円滑に推進するための各種事業に要した経費で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）	説明
市町村振興事業基金交付金	687,624,357	市町村振興宝くじの収益金相当額を公益財団法人三重県市町村振興協会に交付した経費
特例処理事務交付金	124,035,000	県条例により市町に権限移譲された知事の権限に属する許可等の事務の執行について市町に交付した経費
市町振興費	80,843,064	市町の行財税政事務への助言、支援等及び住民基本台帳ネットワークシステムの運用管理業務等に要した経費
自衛官募集事務費	575,250	自衛官募集に係る印刷物作成等に要した経費
合計	893,077,671	

また、216頁の第3目「情報対策費」は、予算現額9億6,558万2,000円に対し、支出済額9億5,478万1,780円、不用額1,080万220円となっています。

支出済額の主なものは、三重県情報ネットワーク維持管理、電子県庁総合システム運用管理、セキュリティ対策等に要した経費で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）	説明
情報ネットワーク及び行政情報システムの整備と適正な運用事業費	813,700,928	三重県情報ネットワーク維持管理及び電子県庁総合システム運用管理、セキュリティ対策等に要した経費
地域情報化の推進事業費	70,033,287	共有デジタル地図整備事業、公的個人認証サービスの運用等に要した経費
最適なIT利活用を実現するための仕組みの確立事業費	47,859,624	IT調達・管理コストの適正化を推進するため、中小システム統合サーバの運用やCIO補佐業務の委託等に要した経費
ITを利活用した行政サービスの提供事業費	23,187,941	電子申請・届出システム、GIS（地理情報システム）等の県民サービスの提供に要した経費
合計	954,781,780	

なお、不用額の主なものは、「情報ネットワーク及び行政情報システムの整備と適正な運用事業費」の845万5,072円で、セキュリティ対策推進事業、庁内情報共有化推進事業、情報ネットワーク維持管理の執行残等です。

また、同頁の第4目「交通政策費」は、予算現額9億6,105万9,000円に対し、支出済額9億4,974万8,545円、不用額1,131万455円となっています。

支出済額の主なものは、地方バス路線の維持のための補助金、地域交通体系整備基金積立金、伊勢鉄道基盤強化等対策事業、地方鉄道の安全性の向上等を図るための補助金等、県内の交通政策の推進にかかる各種事業に要した経費で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額(円)	説明
生活交通活性化促進事業費	478,584,858	地方バス路線の維持のための補助金や地方鉄道の安全性の向上等を図るための補助金等に要した経費
広域鉄道維持確保対策事業費	448,879,787	地域交通体系整備基金積立金及び伊勢鉄道基盤強化等対策事業に要した経費
航空ネットワーク形成事業費	16,367,180	2本目滑走路の早期整備を目指し、中部国際空港の機能強化や利用促進等に要した経費
その他	5,916,720	「高速鉄道ネットワーク形成事業費」、「鉄道活性化促進事業費」等
合計	949,748,545	

また、218頁の第5目「資源対策費」は、予算現額5億8,350万8,000円に対し、支出済額4億9,108万3,247円、翌年度繰越額9,170万1,000円、不用額72万3,753円です。

支出済額の主なものは、地籍調査及び地価調査、長良川河口堰償還金等に要した経費で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額(円)	説明
県土基礎調査推進事業費	246,766,646	県土の計画的な利用を促進するための地籍調査や地価調査等に要した経費
水資源確保対策事業費	241,502,318	長良川河口堰償還金等に要した経費
県土有効利用事業費	2,814,283	三重県国土利用計画の管理運営や土地取引規制事務等に要した経費
合計	491,083,247	

なお、翌年度繰越額は「県土基礎調査推進事業費」の9,170万1,000円で、国の平成29年度補正予算及び追加割り当てを受けて実施する事業の完了が平成30年度になることによるものです。

次に、220頁の第7項「選挙費」ですが、

予算現額	10億6,209万4,000円
支出済額	8億7,258万8,834円
不用額	1億8,950万5,166円

となっています。

同頁の第1目「選挙管理委員会費」は、予算現額4,775万4,000円に対し、支出済額4,451万1,708円、不用額324万2,292円となっています。

支出済額の主なものは、選挙管理委員会委員報酬及び書記の人件費等に要した経費で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額(円)	説明
選挙管理委員会総務費	44,113,708	選挙管理委員会委員報酬及び書記の人件費等に要した経費
政党助成費	398,000	政党助成法に基づき、政党の政党交付金の使途報告に関する事務の一部を国から受託した経費
合計	44,511,708	

また、同頁の第2目「選挙啓発費」は、予算現額 249 万 9,000 円に対し、支出済額 219 万 8,881 円、不用額 30 万 119 円で、支出済額は、明るい選挙を推進するための常時啓発に要した経費です。

事業名	支出済額 (円)	説明
明るい選挙推進費	2,198,881	明るい選挙を推進するための常時啓発に要した経費

また、222 頁の第3目「在外選挙費」は、予算現額 19 万円に対し、支出済額 13 万 8,602 円、不用額 5 万 1,398 円で、在外選挙人名簿への登録に要する経費を市町に交付したものです。

事業名	支出済額 (円)	説明
在外選挙特別経費	138,602	市町に交付した在外選挙人名簿への登録に要する経費

また、同頁の第8目「県議会議員補欠選挙費」は、予算現額 339 万 7,000 円に対し、支出済額 316 万 4,863 円、不用額 23 万 2,137 円で、支出済額は、県議会議員補欠選挙を執行するための事務経費及び市町への交付金です。

事業名	支出済額 (円)	説明
県議会議員補欠選挙費	3,164,863	県議会議員補欠選挙を執行するための事務経費及び市町への交付金に要した経費

また、224 頁の第9目「衆議院議員選挙費」は、予算現額 9 億 9,687 万 2,000 円に対し、支出済額 8 億 1,883 万 4,476 円、不用額 1 億 7,803 万 7,524 円となっています。

支出済額の主なものは、衆議院議員選挙を執行するための事務経費及び市町への交付金等で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額 (円)	説明
衆議院議員選挙費	814,895,476	衆議院議員選挙を執行するための事務経費及び市町への交付金に要した経費
衆議院議員選挙臨時啓発費	3,939,000	衆議院議員選挙を執行するための臨時啓発に要した経費
合計	818,834,476	

なお、不用額は、「衆議院議員選挙費」の1億7,803万7,524円で、選挙執行経費基準法に基づき算定した予算額に対し、実際に選挙の管理・執行に要した経費が少なかったことによる執行残で、市町へ交付する根拠となる国からの交付決定が3月29日であったため、補正予算で対応することができなかったことによるものです。

また、同頁の第10目「最高裁判所裁判官国民審査費」は、予算現額1,138万2,000円に対し、支出済額374万304円、不用額764万1,696円で、支出済額は、最高裁判所裁判官国民審査を執行するための事務経費及び市町への交付金です。

事業名	支出済額 (円)	説明
最高裁判所裁判官国民審査費	3,740,304	最高裁判所裁判官国民審査を執行するための事務経費及び市町への交付金に要した経費

なお、不用額は、「最高裁判所裁判官国民審査費」の764万1,696円で、同時に執行された衆議院議員総選挙と事務を同時に行うことにより、経費の縮減を図ったことによる執行残です。

次に、234頁の第12項「スポーツ推進費」ですが、

予算現額 67億 499万1,000円

支出済額 66億6,810万5,675円

不用額 3,688万5,325円

となっています。

同頁の第1目「スポーツ推進費」は、予算現額8億256万3,000円に対し、支出済額7億8,791万4,193円、不用額1,464万8,807円となっています。

支出済額の主なものは、競技力向上対策、国民体育大会への選手派遣、体育スポーツ振興基金積立金、地域スポーツの推進等に要した経費で、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額(円)	説明
競技力向上対策事業費	321,029,952	競技力向上対策、国民体育大会への選手派遣等に要した経費
体育スポーツ振興基金積立金	296,349,000	体育スポーツ振興基金積立金への積み立て
地域スポーツ推進事業費	57,763,672	スポーツ関係団体の活性化、地域スポーツイベントの開催、総合型地域スポーツクラブの育成及び広域スポーツセンターの運営等に要した経費
第76回国民体育大会開催準備事業費	53,552,140	第76回国民体育大会の開催に向けた準備委員会に対する負担金等に要した経費
三重県国民体育大会運営基金積立金	50,797,586	三重県国民体育大会運営基金積立金への積み立て
第21回全国障害者スポーツ大会開催準備事業費	8,421,843	第21回全国障害者スポーツ大会の開催準備に要した経費
合計	787,914,193	

また、236頁の第2目「スポーツ施設費」は、予算現額59億242万8,000円に対し、支出済額58億8,019万1,482円、不用額2,223万6,518円となっています。

支出済額の主なものは、三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿、三重交通Gスポーツの杜 伊勢、県営ライフル射撃場等の施設整備及び維持管理等に要した経費です。

事業名	支出済額 (円)	説明
スポーツ施設整備運営費	5,880,191,482	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿、三重交通G スポーツの杜 伊勢、県営松阪野球場、県営ライフル射撃場の施設整備及び維持管理、新三重武道館整備費補助金等に要した経費

なお、不用額は、「スポーツ施設整備運営費」の2,223万6,518円で、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿、三重交通G スポーツの杜 伊勢及び県営ライフル射撃場にかかる整備費の執行残等によるものです。

最後に、476頁の第11款「災害復旧費」第6項「鉄道施設災害復旧費」ですが、

予算現額	2,767万円
支出済額	0円
翌年度繰越額	2,767万円
不用額	0円

となっています。

同頁の第1目「鉄道施設災害復旧費」は、予算現額2,767万円に対し、翌年度繰越額は2,767万円で、支出済額、不用額とも0円となっています。

事業名	支出済額 (円)	説明
伊賀鉄道災害復旧支援対策費	0	伊賀鉄道の災害復旧に要した経費

なお、翌年度繰越額は「伊賀鉄道災害復旧支援対策費」の2,767万円で、災害による被害箇所への復旧工事の工法検討等に時間を要したため、事業の完了が平成30年度になることによるものです。

以上をもちまして、地域連携部関係の平成29年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。